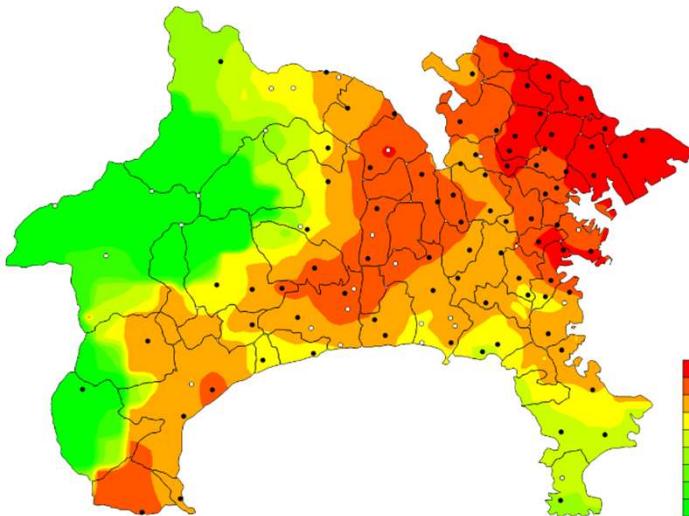


神奈川県内におけるヒートアイランドの発生状況

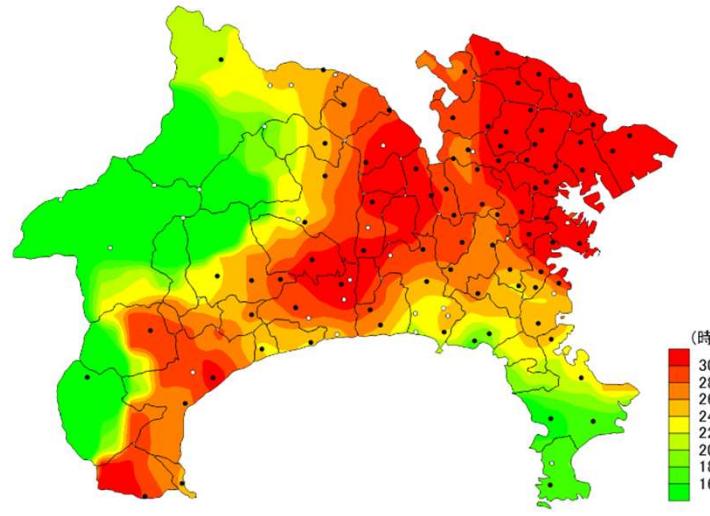
横浜市及び川崎市と連携して令和7年8月に実施した気温観測の結果を下記に示します。

年	平均気温 [°C]	35°C以上 平均時間数	30°C以上 平均時間数	25°C未満 平均時間数	猛暑日 平均日数	真夏日 平均日数	熱帯夜 平均日数	地点数 (※)
R1	28.3	6	185	71	3	24	20	92
R2	29.0	20	266	59	7	29	20	92
R3	27.3	7	151	150	2	21	17	92
R4	27.4	8	158	174	2	21	13	88
R5	28.8	6	232	35	3	30	25	85
R6	29.0	16	247	28	6	27	25	86
R7	29.4	35	282	21	9	27	27	83

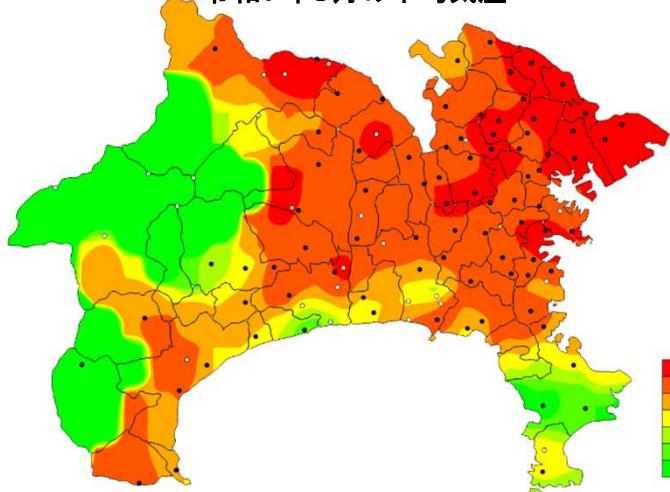
※地点数は、神奈川県環境科学センター・横浜市環境科学研究所・川崎市環境総合研究所による調査地点数



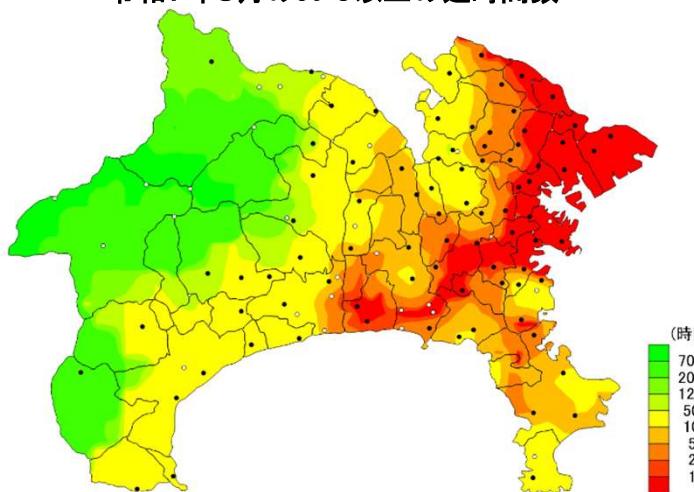
令和7年8月の平均気温



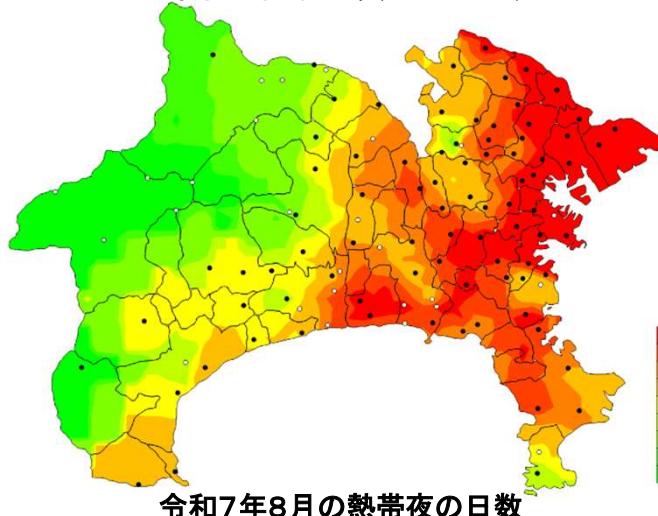
令和7年8月の30°C以上の延時間数



令和7年8月の真夏日の日数



令和7年8月の25°C未満の延時間数



令和7年8月の热帯夜の日数

※図は、県・横浜市・川崎市による観測値(●:83か所)のほか、県企業庁、県自然環境保全センター及び国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所による観測値、気象庁過去の気象データ並びに県及び各市町村の大気汚染常時監視測定結果(○:26か所)を用いて、神奈川県気候変動適応センターが作成した。

観測結果から

- 令和7年8月の平均気温は、当調査を開始した平成22年以降、最高気温を記録した。
- また、真夏日平均日数を除いたすべての観測結果で平成22年以降最高値（25℃未満平均時間数は最低値）を記録した。
- 30℃以上の延時間数から、川崎市全域、横浜市北東部、県央地域から湘南地域までの内陸部、県西地域の沿岸部では比較的高温傾向となった。
- 熱帯夜日数から、夜間から朝にかけて、川崎市と横浜市の東京湾沿岸部、茅ヶ崎市から横須賀市までの相模湾沿岸部及び横浜市南部から大和市までの内陸部で比較的高温傾向となった。
- 平均気温の分布については、年により気温の絶対値は異なるものの、川崎市全域、横浜市東部及び県央地域内陸部から県西地域沿岸部までが比較的高温となる分布傾向は類似している。



神奈川県気候変動適応センター
Local Climate Change Adaptation Center in Kanagawa